

技術条件書

公募する新技術

「東京都多摩障害者スポーツセンター改修工事における天井に関する技術」

屋内プール（約 640 m²）の 6 m 以上の高さにおいて、現在設置されている天井の改修を行う上で、関連法令に適合しつつ、安全かつ必要な機能を継続的に確保するのに適した技術。平成 25 年 8 月 5 日国土交通省告示第 771 号第 2 に定める特定天井の提案の場合は、同告示第 3 第 4 項に基づく内容で検証すること。特定天井以外の提案の場合も、特定天井と同様に地震時の安全性を評価する。

なお、特定天井の場合、同告示の規定を満たさない応募資料については審査を行わない。提案に際して、天井重量、梁下寸法、天井材料については、事業概要書に示す範囲内とする。

本公募で求める技術条件を以下に示す。

A 性能基準

・安全性

ア 構造安全性について優れた性能を有すること。改修後の天井が特定天井となる場合、平成 25 年 8 月 5 日国土交通省告示第 771 号第 3 第 4 項に基づく内容で検証すること。改修後の天井が特定天井に該当しない場合、建物としての機能を維持し、万が一の天井落下時における安全性に優れた性能を有すること。

また、天井面構成部材等の単位面積質量が 2 kg/m² 以下の場合でも、安全性における客観的な根拠資料を提示すること。

イ 地震発生後に施設を利用する上での機能の継続性を確保する技術であること。

ウ その他、地震発生時の安全性をより高める技術や提案がある場合は、記載すること。優れたものであれば、加点する。

B 機能性

エ 屋内プールの用途上、天井裏の気密性、防湿性、結露の防止等多湿空間に配慮していること。

オ 耐久性についての配慮があること。

カ メンテナンス性に優れたものであること。平成 27 年 1 月 13 日国住指第 3740 号(特定天井の定期調査について（技術的助言）)に基づく定期調査を円滑に行うことができる天井方式（天井下地、仕上げ、点検口の設置等）とすること。特定天井以外についても、これに準ずることとする。

キ リサイクル材の使用や撤去時の廃棄物削減等、資源の有効利用が図れるものであること。

ク 有害物質に配慮した材料であること。

ケ 用途を考慮し、吸音性能など音響に配慮したものであること。

コ 用途を考慮し、意匠性に配慮したものであること。

サ その他、機能性について特に高める工夫や配慮がある場合は、記載すること。優れたものであれば、加点する。

C 先進性

シ 特許等の取得あるいは申請の状況、技術論文の公表、受賞履歴、業界誌や新聞など紙面上の技術紹介により先進性が確認できること。

D 経済性

ス 天井（天井下地、仕上げ）の工事費が適切であること。市場調査結果等を踏まえ、今回規模の天井における標準工事費（材料費及び施工（歩掛）費（㎡単価等））を算出する。価格は税別で、材工共の標準設計価格（公表価格）とする。

セ その他、経済性について、耐用年数やランニングコストなど特に配慮がある場合は、記載すること。優れたものであれば、加点する。

E 施工性

ソ 施工実績がある、もしくは施工が確実にできるもの。

（施工に関して性能評価機関での性能評価を受けているなど、実績がわかる書類がある場合は、その写しを添付する。）

タ 既存天井における改修工事に施工可能な天井方式（天井下地、仕上げ）とし、施工性能に優れたもの。

なお、既存天井内のダクト設備、照明器具等は更新を想定しているが、天井施工において取付の支持金物等の配置などこれら設備配管等への配慮について記載すること。

チ その他、施工性向上に資する技術や提案がある場合は、記載すること。優れたものであれば、加点する。

以上